



令和7年度 採択事業

- 応募数：9事業
- 1次審査（書類審査）：令和7年6月27日（金）
- 2次審査（プレゼンテーション審査）：令和7年7月4日（金）
- 採択事業：6事業

No.	団体名	事業名	担当委員
1	新津観光協会	灯籠でスポットをライトアップ事業	【1部会】 ◎轡田委員 甲田委員、高橋委員
2	金津音ふるフェスタ 実行委員会	金津音ふるフェスタ	【第1部会】 ◎小菅委員 小見委員
3	荻川わんわん パトロール隊	ながら見守り防犯パトロール	【第1部会】 ◎村上委員、加納委員
4	秋葉区学校支援会	民話劇学校出前公演	【第1部会】 ◎加納委員、渡邊委員
5	新潟薬科大学 香粧品・ アロマセラピー研究会	薬学生が地域貢献！ アロマセミナー&クラフト体験会	【第1部会】 ◎杉田委員 保科委員
6	秋葉区田家2丁目 町内会	秋葉公園地区MTBコースの整備 (副題：森林活用と活性化)	【第1部会】 ◎渡邊委員、村上委員

(応募順)

- ・担当委員のうち、◎がついている委員は代表委員となります。
- ・各団体には、打ち合わせの場から自治協議会委員が参加させていただく、という旨をお伝えしています。各団体との連絡調整役として、リーダーの連絡先を各団体へ共有させていただきたいと思いますので、予めご了承ください。

令和7年度
きらめきサポートプロジェクト
活動報告

新津観光協会
～灯籠でスポットを
ライトアップ事業～

令和7年度 秋葉区自治協議会提案事業
きらめきサポートプロジェクト事業実施報告書

令和8年3月27日
団体名 新津観光協会
代表者 会長 前田 正実

1. 提案事業名

灯籠でスポットをライトアップ事業

2. 事業内容

夏まつり後の堀出神社（新津本町3）境内へ大型の枠灯籠（高さ80cm×幅40cm）を約34台設置し、まちなかへ多くの人々を誘った。今回の取り組みは新聞に記事掲載されたこともあり、毎年開催されている新津第二小学校で開催されている光のイベント「おかえり灯りプロジェクト」などで活用したいと引き合いがあり、実際に数台貸し出しを行った。灯籠を他のイベントで使用する場合、その催しの主旨に併せて筒のデザインを変える事ができるため、より柔軟に活用できる仕様となっている。

灯籠の製作にあたっては、地元の新津工業高校の授業の一環として製作してもらえることとなったため、新津に関係する多くの人々を巻き込むことができ、機運の醸成を図ることができた。設置開始日の9月25日には堀出神社拝殿内でセレモニーを行い、灯籠の製作にあたった生徒達とともに喜びを分かち合った。

3. 総合評価(目的と成果)

人が集まりやすいスポットを集中的にライトアップする事で、人で賑わう時期以外でも持続的に人が集う仕掛けを作り、賑わいを創出する事を目的として企画。

対象者は区内外から多くの方に来ていただきたいと考え、不特定多数を対象としているためハッキリとした来場者数等の数値を示す事は難しいが、堀出神社の轡田宮司の話では、来場者の評判は上々であったとのことだった。また、灯籠制作は新津工業高校の生徒が担い、堀出神社からは設置場所と電力を提供してもらい、また設置作業にあたっては自治協第一部会の担当委員の協力もあり、地域を活性化しようという年代を超えて気持ちを一つにできたことが大変よかったと思う。

4. 今後の取り組み(次年度以降)

初年度の取り組みについては、堀出神社への設置と第二小学校への貸し出しだけとなってしまったが、他のイベント関係者からも問い合わせがあるため、次年度以降は目的に沿うものであれば積極的に貸し出しを行い、活用していきたい。すでに新津工業高校へは30台ほど追加制作を依頼済みであり、令和8年7月末までに完成する予定。貸し出しおよび活用については、観光協会・商工会議所・商店街・自治協議会等と意見交換しながら一緒に検討していきたいと考えている。

5. 実施状況写真

別紙のとおり

5. 実施状況写真



令和7年度
きらめきサポートプロジェクト
活動報告

金津音ふるフェスタ実行委員会
～金津音ふるフェスタ～

第1回金津音ふるフェスタ

実施報告と今後の展望

サブタイトル

金津の里山に新たな賑わいの創出を



1

1 開催の目的

コンセプト3つの思いの達成

- ① 知ってもらう
- ② 訪れてもらう
- ③ 好きになってもらう



2



ハンドパンの演奏

屋外会場も無事に開催できた

3

2 概要

会場 5
出演者 75
24バンド

県内全域
村上から上越



4



プロの機材を持ち込みサポート



柏崎から駆け付けサポート

5



当日準備 入念なリハーサル

前日準備と当日準備

6



古代館 50名
ダンスパフォーマンス時

7



大ホール集客数 150名

8



植物園集客数 70名

9



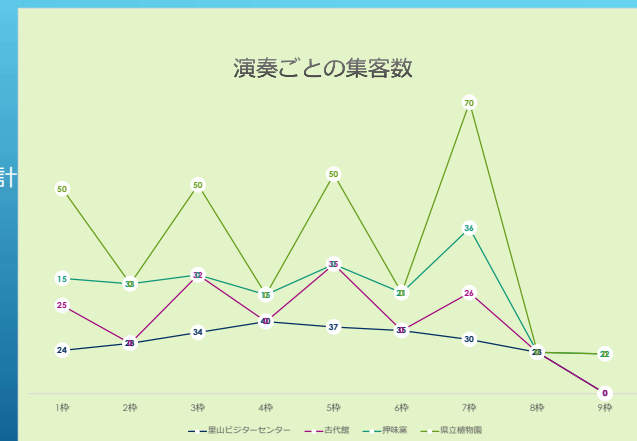
押味窯 42名

10



里山ビジターセンター 40名

11



12



地域活性 キッチンカーの出店

13



就労支援施設との連携

14

企業や施設との連携
関越サービス
押味窯
サンフロスト
幕開けプロジェクト

15

3 振り返りと次回への挑戦

出会った課題とエピソード

(1) 成功点

金津に初めて来た人がいた
金津に再訪した人がいた



(2) 改善点

アクセスマップの視認性 → 徒歩での距離がわかるように改善
SNSキャンペーンの苦戦 → ターゲット層とツールの乖離の改善



若い演奏者の参加

16



波及効果→ また来たい！ 押味窯へのリピーター誕生

紅葉の時期に再訪し茶碗を購入した

17

4 第2回に向けて

- ☆ 若年層への訴求
若い演奏者の起用とSNS集客の強化
- ☆ 演奏クオリティの向上
プロ奏者の招へいと有料開催へのステップアップ



18

令和7年度
きらめきサポートプロジェクト
活動報告

荻川わんわんパトロール
～ながら防犯見守り
パトロール～

荻川
わんわん
パトロール
隊

令和7年度活動報告



1



活動の目的
= 地域の安全安心

2



11/24
しつけ教室

佐藤ヒロキ先生

3




全9回
ドッグヨガ

五十嵐愛先生

4

荻川 わんわんパトロール隊 会員数

新潟市外	荻川地区
新潟市 (荻川以外) 秋葉区 4人+4頭 江南区 4人+5頭 中央区 2人+5頭 東区 3人+3頭 西区 3人+3頭 南区 1人+1頭 西蒲区 1人+1頭	新潟市外 新発田市 1人+2頭 阿賀野市 2人+2頭 五泉市 1人+1頭 三条市 1人+1頭



荻川地区
みそら野 11人+7頭 あおば通 9人+8頭 中野 3人+5頭 川口 2人+3頭 田島 1人+2頭 結 1人+1頭 荻島 1人+1頭

これからも地域の安全安心を守っていきます。




令和7年度
きらめきサポートプロジェクト
活動報告

秋葉区学校支援会
～民話劇学校出前公演～

「きらめきサポートプロジェクト」事業実施報告会プレゼンテーション

事業名

民話劇学校出前公演



「きらめきサポートプロジェクト」の支援をいただき、ありがとうございます。



秋葉区学校支援会

1

「きらめきサポートプロジェクト」の支援による具体的成果

- 1 スポットライトの購入
- 2 ポスターの製作
- 3 自治協委員の協力



お陰様で、レベルアップした公演ができました。



2

今年度の公演『きつねにだまされたあぶらげ屋』では



新津一小児童から感想文が届きました



ハイタッチで子どもたちとお別れ

6つの小学校で公演して、約1300人の子どもたちから観賞してもらいました。



3

最後に

関係の方々から、「スクリーンと両サイド黒幕の高さをそろえた方がいいよね。」「ポスターは、登場人物が分かってよかったよ。」などの助言や評価をいただきました。次年度も子どもたちに楽しんでもらえる民話劇公演を行ってまいります。引き続き、皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げて、プレゼンテーションを終わります。

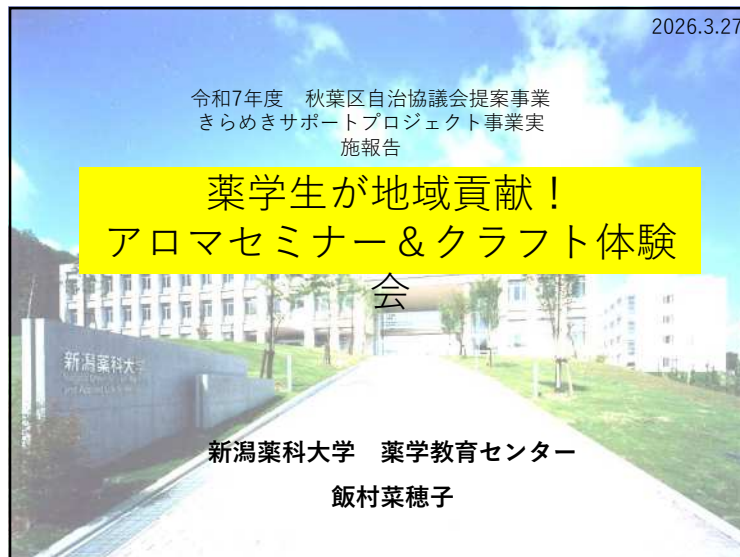


4

令和7年度
きらめきサポートプロジェクト
活動報告


新潟薬科大学
化粧品・アロマセラピー研究会
～薬学生が地域貢献！

アロマセラピー&クラフト研究会～



1






本事業は。。。
 薬科大生が日々の学び・研究の中で修得してきた健康とアロマ・化粧品また薬に関する知識や技能を地域住民の方々、子供たち（次世代の若者たち）の健康増進のために提供し、役立てて頂くために実施。



実施メニュー	内容
アロマセミナー開催	日々の学び・研究の中で修得してきた健康とアロマ・化粧品また薬に関する知識や技能を地域住民の方々の健康増進のために提供
アロマクラフト体験教室開催	精油の香りを体験して頂きながら、アロマキャンドルやサシェ、ハーバリウム等、参加者により手作りして頂くお手伝い
アロマ・コスメ説明動画	オリジナルアロマ・コスメ説明動画「あろ★まど！」を作成し、アロマセミナーで放映
アロマクラフトテキスト作成	オリジナルテキストを作成し、セミナーで配布
アロマハンドクリームの開発	これまで学習・研究してきたリラクゼーション効果や作業効率UP効果が期待できるアロマのブレnding技術を活かしたハンドクリームの作成と発表
アロマクラフトコンテスト	全国アロマクラフトコンテストへオリジナル作品の出品

2

事業スケジュール

時期	内容	活動
7月～ 9月上旬	★オリジナルアロマクラフトテキストの作成 ★薬学生オリジナルアロマブレンドのハンドクリーム開発 ★製品ネーミング、パッケージデザインの考案	
9月～ 10月	★アロマクラフトテキストの編集と印刷 ★アロマ・コスメ説明動画「あろ★まど！」作成 ★オリジナルブレンドハンドクリームの試作	
10月 11、12日 (2日間)	★アロマセラピーセミナーとアロマクラフト体験教室の開催 ★「あろ★まど！」放映 ★アロマクラフトテキストの配布	
10月下旬	★10月の地域の方々との交流、アロマ活動の結果などを元にアロマクラフトコンテスト（アロマコーディネーター協会主催の国内コンテスト）への挑戦（作品の出品）	
3月下旬	★秋葉区自治協議会での成果発表	

3

事業実施の様子

①アロマセミナーの開催（2025年10月11日、12日）

薬科大生は力を合わせて日々の学習を活かして、アロマ・コスメに関するセミナーを開講し、地域の方々の健康増進に貢献するイベントを行った。セミナー参加者は、**2日間合わせて約130名であった。**「2026年度の開催も楽しみにしています。」というお声を多数頂いた。



②アロマクラフト体験教室の開催

アロマクラフト体験教室では、精油の香りを体験して頂きながら、アロマキャンドル、サシェ、ハーバリウム等、**自分だけのオリジナル作品を手作りして頂くお手伝い**を行い、薬科大生は来場者の**皆様と交流**を深めた。



4

③アロマ・コスメ説明動画「あろ★まど！」作成

セミナーでは、**小さいお子さんから高齢者の方までを対象とした、分かりやすいアロマセラピーについてのオリジナル説明動画「あろ★まど！」**を放映しながら、香りやアロマセラピーに親しんで頂く工夫をした。



④アロマクラフトテキスト作成

アロマクラフトの材料や作り方についてご紹介したり、精油やクラフト作成に関連する様々な事柄を“**豆知識**”として各ページに添えています。このテキストが皆様の生活にちょっとした彩りを与え、**暮らしに役立つものとなればという願いを込めて作成**した。



5

⑤アロマハンドクリームの開発

アロマを通してたくさんの人に喜びや輝きを感じてもらいたい、学びを香りで応援したいという薬学生の想いをフランス語を用いた造語を使って名付けた「**Cletude. (クレチュード)**」という商品名で「**アロマハンドクリーム**」を完成させ、アロマセミナー等でお披露目した。このハンドクリームに対して、地域の方々から「家族や友人にも勧めたい」「リピートしたい」「また新しい製品を作ってください」というご意見を多数いただいた。



⑥全国アロマクラフトコンテストへの挑戦

日本アロマコーディネーター協会(略称JAA)が主催する「第3回アロマクラフトコンテスト」に挑戦した。

「**希望の花束**」と名付けた薬科大生のオリジナル作品、アロマキャンドルが全国から多数の応募の中から見事、**全国第2位に入賞**した。



6

本事業の効果

「**地域住民の健康増進、地域経済の活性化、学生自身の成長促進など**」

- ①薬学生のアロマセラピーの知識やスキルを活かした活動は、地域の方々の健康増進に貢献できたと思われる。
- ②クラフト作成を通じて仲間や友人が増え、街のコミュニケーションの場を提供できたのではないと思われる。
- ③学生は、この活動を通じて、地域社会での学びができ、学生自身の成長に繋がった。
- ④薬学生の発表によって、地域の方々に対してアロマセラピーの日常への上手な取り入れ方などを知っていただく良い機会となったのではないかと。

事業の継続・今後の展開

- ①本事業を成功させることで、先輩学生から後輩へと受け継がれ、毎年恒例行事へと発展させていきたい。
- ②今回の活動を後輩学生が知り、新たなメンバーが加わり、セミナーの新企画、「あろ★まど！」動画やアロマテキストの続編作成がスタートしている。
- ③10月に開催したアロマセミナーに参加していただいた皆様からのご意見、リクエストに応えるためのイベント企画にも取り組みたい。

7

ご清聴ありがとうございました。

この度は「令和7年度 秋葉区自治協議会提案事業 きらめきサポートプロジェクト」に採択いただき、心より感謝申し上げます。
本事業を通じて、秋葉区の活性化にこれからも貢献できるよう尽力して参ります。

8

令和7年度
きらめきサポートプロジェクト
活動報告

田家2丁目町内会
～秋葉公園地区MTBの整備～



1

令和7年度きらめき未来プロジェクト結果報告

事業名:秋葉公園地区MTBコース整備
(副題:森林の活用と地域活性化)
団体名:田家2丁目町内会・MTB愛好会

事業概要の目的として掲げた「秋葉山公園(田家区域)を、未来を担う子どもたちがMTBや遊びの場を通して、ルールを守り楽しく人々が集える場所にする」というビジョンを実現するために、田家2丁目町内会とMTB愛好会が連携し、MTB(自転車)コースの整備を進め、安全かつ楽しく利用できる環境づくりに努めました。

令和2年度にきらめきサポートプロジェクトに初めて採択されて開始されたMTBコース造成は、SNSなどでの発信により利用者が年々増加し、令和7年度には延べ約1,000人の利用がありました。特に子どもたちの利用が増えたことから、コースの安全性向上とより多くの利用者が楽しめる環境づくりが求められていました。

令和7年度のきらめき未来プロジェクトでは、町内会と愛好会が協力し、小型重機を用いてMTBコースの拡充・整地を行い、走行性に優れた真砂土を敷き詰めることで、安全で強固な地盤のコースを完成させました。コース整備に加え、秋葉山周辺の道路や遊歩道の整備も積極的に実施し、散歩者にも優しい地域づくりに貢献できたと考えています。

今後もMTBパークとして利用者の増加を目指し、積極的な活動を継続していきます。秋には子どもたちを中心としたマウンテンバイク教室の開催や、あきはなびでのスポーツ体験イベントへの出張参加などを通じ、MTBを通じて多くの方が秋葉公園を訪れる機会を創出してまいります。私たちが子どもの頃に楽しく遊んだ秋葉公園が、次世代にとっても安全で素晴らしい場所であり続けるよう、今後も活動を続けていく所存です。

2

コース整備(随時)

3

あきはなびスポーツ体験案内

阿賀野川
あきはなびまつり

スポーツ体験
イベント開催!!

9.27 12:00~17:00
入場券 無料

あきはなびまつり実行委員会・フォローする
リール: 9月18日

スポーツ体験
イベント開催!!

マウンテンバイク体験
基本を学びミニコースで走る
マウンテンバイク特別プログラム!

マウンテンバイク体験@akiha_mtb_park
基本の乗り方を学び、ミニコースで走行にチャレンジ!
秋葉MTBパークのみなさんと一緒に、マウンテンバイクの楽しさを体感できます。

4

あきはなびスポーツ体験(9/27)



5

公園周辺整備(3回/年)



6

マウンテンバイク教室案内

【令和7年度秋葉区自治協議会秋祭り実行委員会】
きらめきサポートプロジェクト

秋ライド
マウンテンバイク教室

2025年 11月 2日 (Sun.)
9:00-16:00

雨天等中止の場合、おSMSでお知らせします

・パンクチェック	9:00 受付開始	教室のエントリー
・タイム測定	9:30 教室開始	
・ダートジャンプセッション	12:00 教室終了	
	13:00 フリー走行	

AKIHA MTB PARK

7

マウンテンバイク教室(11/2)



8

事業実施前の打合せ(現状の課題) および実績(1/2)

1 打合せ概要

令和7年8月10日、現地MTBコースを確認後に秋葉区文化会館に移動し、関係者との意見交換を行い、事業の現状、運営体制、今後の展開について確認した。

2 明らかとなった主な課題

(1)運営体制に関する課題

日常的なコース整備およびメンテナンスは、主にボランティアによって実施されており、人的負担が大きい状況にある。継続的な運営のために参加者から協賛金を募る仕組みはあるものの、安定的な運営体制とは言い難く、将来的な担い手不足が懸念される。

(2)認知度・周知に関する課題

利用者は小学生の親子を中心として一定数存在するものの、秋葉区内の子どもたちや保護者への認知度は十分とは言えず、地域資源としての活用が限定的となっている。区内向けの効果的な広報手法について、さらなる検討が必要である。

実績① 認知度を高める方法として、パンフレット等の配布が可能とのアドバイスもらった。

実績② MTBコース周辺的一般道路清掃を行い、通行者が興味を示す活動を行った。

(3)制度・制約に関する課題

本施設は市から借用している土地であるため、コースの整備内容や変更について都度許可が必要となっている。また、イベント開催等において収益を得ることが難しく、事業の自立的・持続的な運営を進める上で大きな制約となっている。

実績① 新潟市から田家2丁目町内会へ「継続3年間の借用契約」が出来た。

実績② 令和7年度のきらめきサポート事業に採用された。

9

事業実施前の打合せ(現状の課題) および実績(2/2)

1 打合せ概要

令和7年8月10日、現地MTBコースを確認後に秋葉区文化会館に移動し、関係者との意見交換を行い、事業の現状、運営体制、今後の展開について確認した。

2 明らかとなった主な課題

(4)事業展開に関する課題

日本海側最大規模のMTBコースであり、立地条件や自然環境など優れた資源を有している一方で、これらの強みを十分に活かした事業展開には至っていない。教室や体験イベントなどソフト事業を中心とした展開を継続・発展させるための中長期的な方向性の整理が求められる。

実績① 青年会議所からの声かけで、あきはなび「スポーツ体験イベント」に参加した。

実績② 定例の「マウンテンバイク教室」を開催した。

実績③ イベント用に持ち出し可能な「組立パンプコース」を作成した。

3 今後の対応・検討事項

本事業を秋葉区の関係人口創出や魅力発信につなげていくためには、行政機関との連携を強化し、制度面の整理や支援の在り方について協議を進める必要がある。また、先行事例を参考にしながら、無理のない形で持続可能な運営体制を構築していくことが重要である。

10